

東京, 2015年5月26日

小型、軽量、お手頃価格のネットワークカメラ「M11シリーズ」に新たに4つのモデルを投入

屋内用、および屋外対応の小型、軽量の固定ネットワークカメラのローエンドモデル、「AXIS M11」シリーズの最新ラインアップとして機能をさらに充実させました。今回、4月発表のZipstreamテクノロジーを搭載し、H.264と互換性を維持しながらストレージ・帯域幅を平均50%節減します。店舗、銀行、ホテル、学校、公共施設などの監視に最適です。

ネットワークカメラのリーディングカンパニー、アクシスコミュニケーションズ株式会社(本社：東京都新宿区、以下アクシス)は小型、軽量の固定ネットワークカメラのローエンドモデル、「AXIS M11シリーズ」に、新たに4つのモデルを投入します。

今回投入される製品は、屋内用の「AXIS M1124」および「AXIS M1125」、屋外対応の「AXIS M1124-E」および「AXIS M1125-E」の4モデルです。本製品は本年4月発表のZipstreamテクノロジーを搭載し、H.264と互換性を維持しながらストレージ・帯域幅を平均50%節減します。さらに、H.264ハイプロファイルにも対応するため、さらなるデータ節減を実現します。今回発表された製品は解像度別に2種類で、最大解像度は各々HDTV 720pおよびHDTV 1080pです。どちらも毎秒30フレームのフレームレートを配信能力で、店舗、銀行、ホテル、学校、公共施設などの監視に最適です。本製品は、従来のAXIS M11シリーズを構成する屋内用カメラ「AXIS M1103」、「AXIS M1104」、「AXIS M1113」および「AXIS M1114」、屋外対応の「AXIS M1113-E」および「AXIS M1114-E」の後継となります。

本製品は、最新のワイドダイナミックレンジ機能として、極端な明暗差のある光条件においても鮮明な画像を実現するフォレンジックキャプチャーを搭載しています。これまで中上位機種に搭載されていたフォレンジックキャプチャーがローエンドモデルで搭載されるのは、本モデルが初となります。

バリフォーカルレンズを搭載し、撮影シーンに合わせて画角調整が可能です。また、赤外線フィルターの自動オン・オフによるデナイト機能を搭載しています。さらに、microSDXCカードスロットを内蔵し、エッジストレージによる映像録画にも対応しています。加えて、I/Oポートも搭載し、外部機器との連動も可能にしています。本製品は、屋内用、屋外対応をそれぞれご用意し、利用シーンに合わせて柔軟にお選びいただくことができます。屋内用モデルはコンパクトな形状で、内装になじむスタイリッシュなデザインです。屋外対応モデルはIP66、NEMA 4Xの防水・防塵性能を備えたハウジングを装備しています。

本製品は「AXIS Camera Station」や、アクシスの「Application Development Partner Program」を利用したサードパーティ製アプリケーションによるビデオ管理ソフトウェアを利用可能です。また、ONVIFにも対応しています。

屋内用「AXIS M1124」および「AXIS M1125」が本日より先行して発売され、追って屋外対応の「AXIS M1124-E」「AXIS M1125-E」が6月に発売予定です。

Axis Communicationsについて

アクシスは、インテリジェントなセキュリティソリューションを通じて、よりスマートで安全な環境の実現を目指しています。世界のネットワークビデオ市場をけん引するリーダーとして、アクシスはオープンプラットフォームを基盤とした革新的なネットワーク機器を次々と開発し、製品化しています。また、パートナーとのグローバルな連携体制を通じて、お客様に付加価値の高い製品をお届けします。アクシスでは、長年にわたってパートナーと協力関係を築いてきました。アクシスはこうしたパートナーに向け、蓄積された知見と、既存および新規市場における画期的なネットワーク製品を提供しています。アクシスは全世界40ヶ国以上に1900人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、179ヶ国の75,000以上のパートナーから成る連携体制に支えられています。スウェーデンに本社を置くアクシスは1984年に設立され、NASDAQ Stockholm (ティッカーシンボルAXIS)に株式上場しています。より詳しい情報はwww.axis.comをご覧ください。